

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがらです。

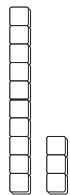
□の数字は、教科書のページ数です。

1年 10より おおきい かず、なんじ なんじはん □36～49

- 20までの数を読んだり、書いたりできるようにします。また、数直線を見ながら、数の大小や並び方を理解します。

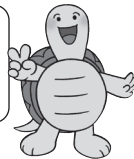
「10といくつ」という数の構成に着目して、 $12+3$ や $15-5$ などの計算ができるようにします。

- 30くらいまでの数の読み方を学習します。



10と3
で
13

10のまとまり
を作ると
数えやすいね。



- 時計を見て、「何時」「何時半」を読みとることができるようにします。

2年 たし算と ひき算の ひっ算 □86～97

- 百の位にくり上がるたし算、百の位からくり下がるひき算ができるようにします。

〈注意〉くり上がりやくり下がりが2回ある場合があるので、わすれないように注意する。

$$\begin{array}{r} 49 \\ + 85 \\ \hline 134 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 9+5=14 \\ 1\text{くり上げて} \\ 1+4+8=13 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 32 \\ - 83 \\ \hline 59 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{十の位から1くり下げて} \\ 12-3=9 \\ \text{百の位から1くり下げて} \\ 13-8=5 \end{array}$$

3年 あまりのあるわり算、大きい数のしくみ □82～103

- あまりのあるわり算の答えが求められるようにします。

わり算のあまりは、わる数より小さくなります。

$$\begin{array}{r} 23 \div 7 = 3 \text{あまり} 2 \\ \text{「七三 21」} \\ 23 - 21 = 2 \end{array}$$

〈答えのたしかめ〉
 $7 \times 3 + 2 = 23$ で確かめる。

- 一億までの数の表し方やしくみを学習します。また、「10倍・10でわる」を通して「位」を理解します。

4	5	3	6	0	0	0	0
千万の位	百万の位	十万の位	一万の位	千の位	百の位	十の位	一の位

この数は、
四千五百三十六万と
読みます。

4年 わり算の筆算(2)、倍の見方 □94～117

- 2けたの数でわるわり算の筆算ができるようにします。

$$\begin{array}{r} 6 \\ 41 \overline{) 275} \\ \underline{246} \\ 29 \end{array}$$



答えのたしかめも
しておこう。
 $41 \times 6 + 29 = 275$

- ・わる数の41を40とみて、商の見当をつける。
- ・商の6を一の位にたてる。
- ・41と6をかける。
 $41 \times 6 = 246$
- ・275から246をひく。
 $275 - 246 = 29$
- ・答えは、6あまり29

- もとの量の何倍かの求め方、くらべる量やもとにする量の求め方を考えます。

$$\begin{array}{l} 5\text{m} \rightarrow 15\text{m} \\ 3\text{倍} \end{array}$$

5年 図形の角、偶数と奇数、倍数と約数 □84～104

- 三角形の3つの角の大きさの和 $=180^\circ$ をもとに、四角形、多角形の角の大きさの和を求め、それぞれの図形の角の大きさを計算します。

- 倍数や約数の意味を知り、それらの数が求められるようにします。

倍数…ある整数に整数をかけてできる数。

いくつかの整数に共通な倍数を、それらの整数の公倍数といい、その中でいちばん小さい数を最小公倍数という。

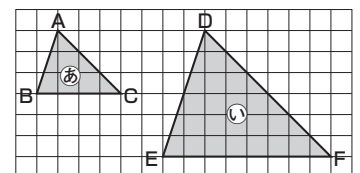
約数…ある整数をわりきることでできる整数。
(1とその数自身も約数)

いくつかの整数に共通な約数を、それらの整数の公約数といい、その中でいちばん大きい数を最大公約数という。

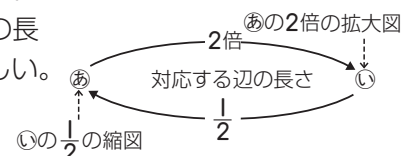
6年 拡大図と縮図、データの調べ方 □88～115

- 図形を拡大、または、縮小するしかたを学習し、縮尺についても学びます。

拡大図 \longleftrightarrow 縮図



- ・対応する角の大きさは等しい。
- ・対応する辺の長さの比は等しい。



- データを表やグラフにまとめたり、平均値などを求めたりして、その特徴を調べます。